

スクール・トゥ・ワーク早活人材データ集2019



2019年11月

一般社団法人スクール・トゥ・ワーク

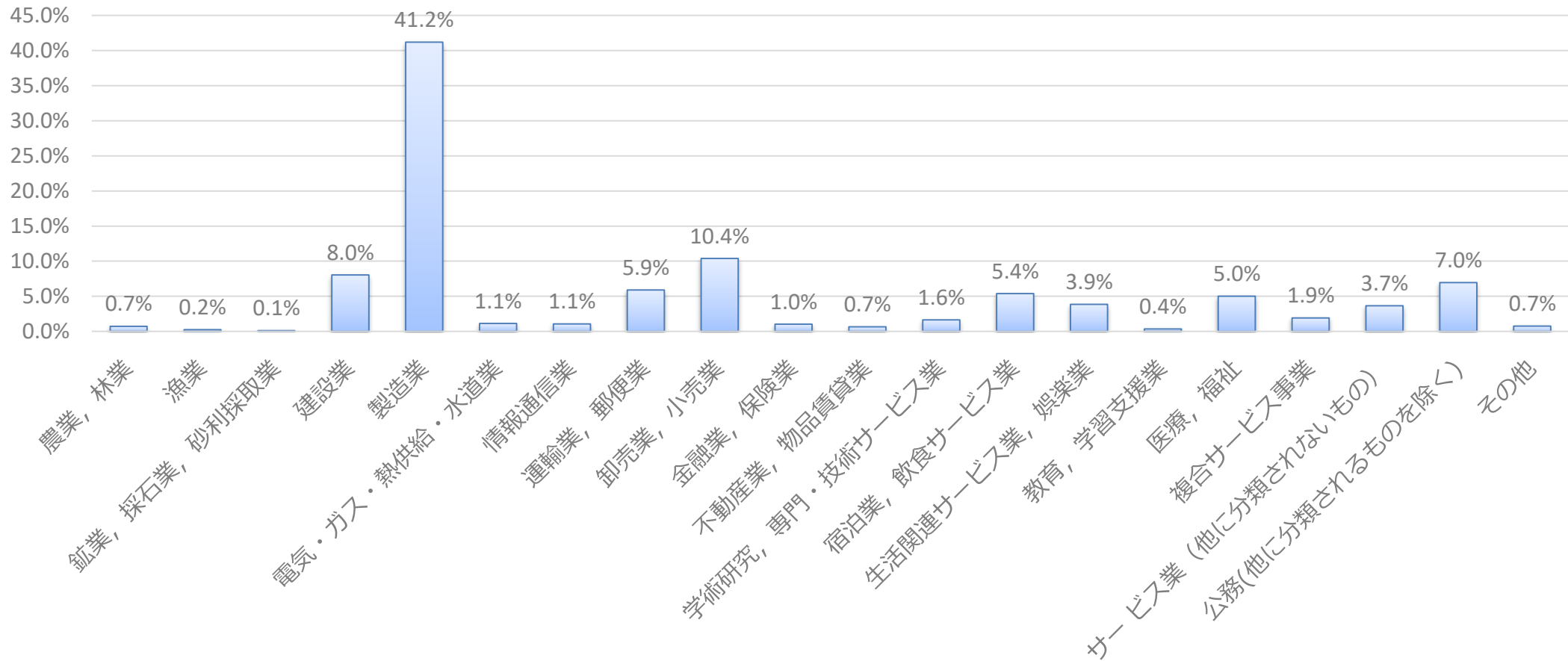
目次

1. 高校卒者の就職先産業種（2019年卒）
2. 高校卒者の就職先産業種の変化（2019年卒/2008年卒）
3. 高校卒者の就職先職業種（2019年卒）
4. 高校卒者の就職先職業種の変化（2019年卒/2008年卒）
5. 高校卒者に占める就職者の割合
6. 高校卒就職者の県外就職率
7. 就職者率と県外就職率のマッピング
8. 早期離職率の変化（学歴別）
9. 大学卒と高校卒の3年以内離職率の差（大学卒－高校卒）
10. 1,000人以上事業所における3年以内離職率の変化（学歴別）

1. 高校卒者の就職先産業種 (2019年卒)

－就職先は製造業が41.2%を占め、卸売業・小売業(10.4%)が続いて多く、情報通信業(1.1%)などは少ない

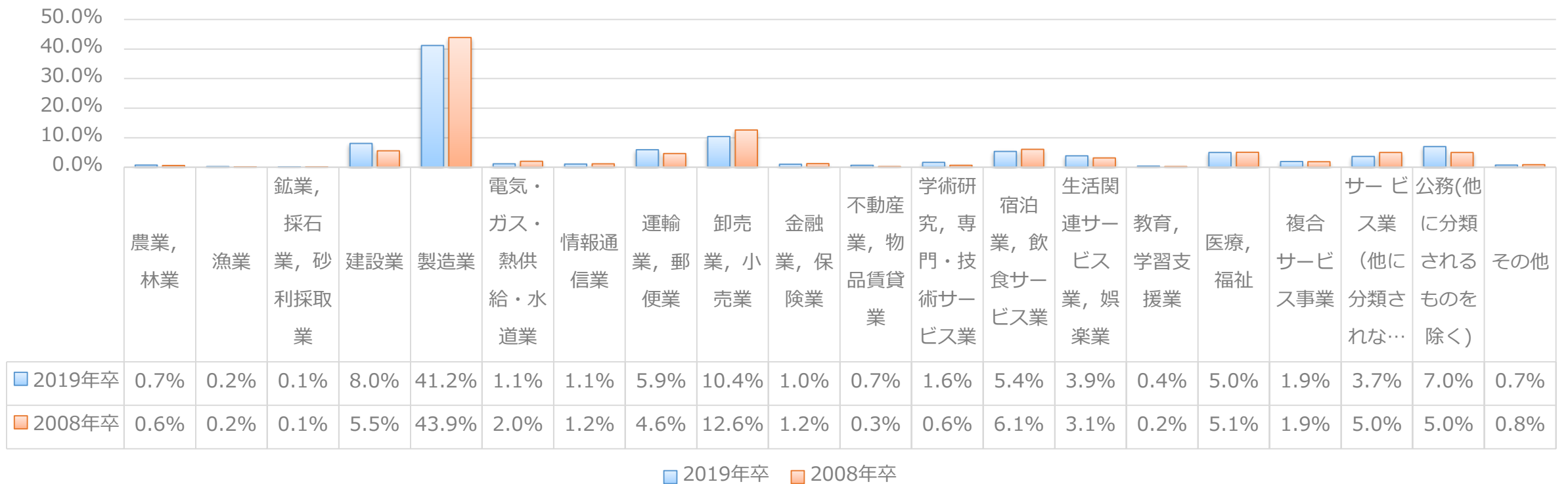
高校卒者の就職先産業種(2019年卒)



2. 高校卒者の就職先産業種の変化 (2019年卒/2008年卒)

－就職先で多数を占める製造業、卸売業・小売業は減少傾向。

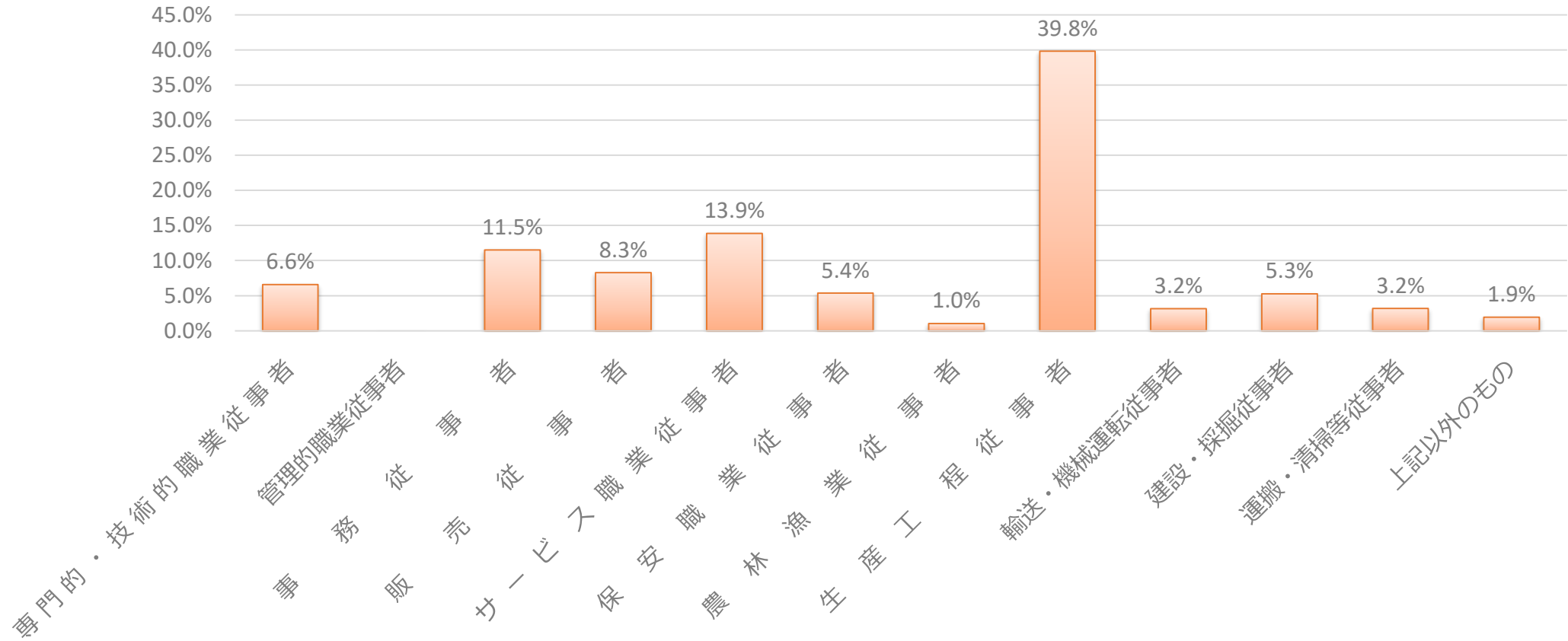
高校卒者の就職先産業種の変化



3. 高校卒者の就職先職業種 (2019年卒)

－職種では、製造業等で働く生産工程従事者が39.8%と最も多い。

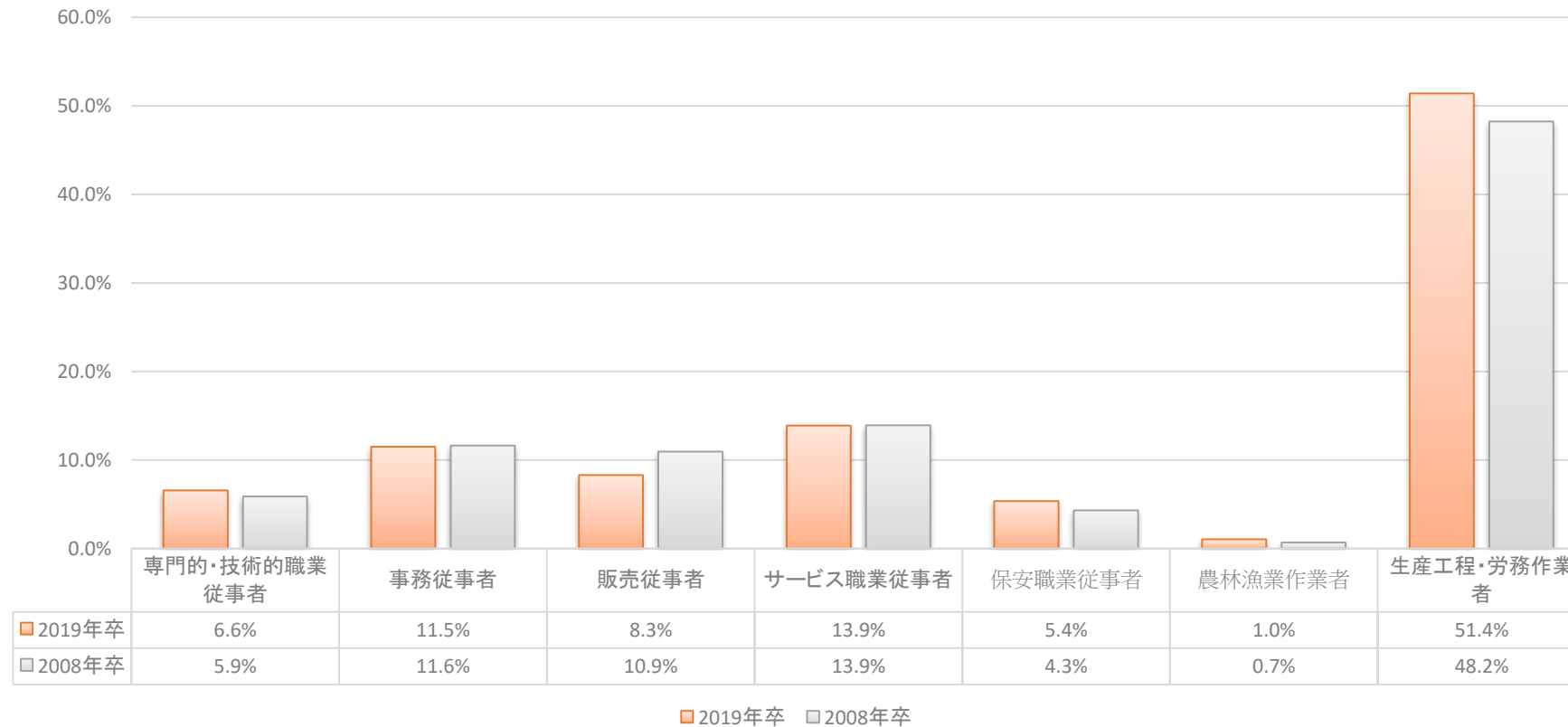
高校卒者の就職先職業種(2019年卒)



4. 高校卒者の就職先職業種の変化 (2019年卒/2008年卒)

－ 多数を占める生産工程・労務作業者は微増傾向。

高校卒者の就職先職業種(2019年卒/2008年卒)



※生産工程・労務従事者には生産工程従事者のほか、輸送・機械運転従事者、建設・採掘従事者、運搬・清掃等従事者を含む

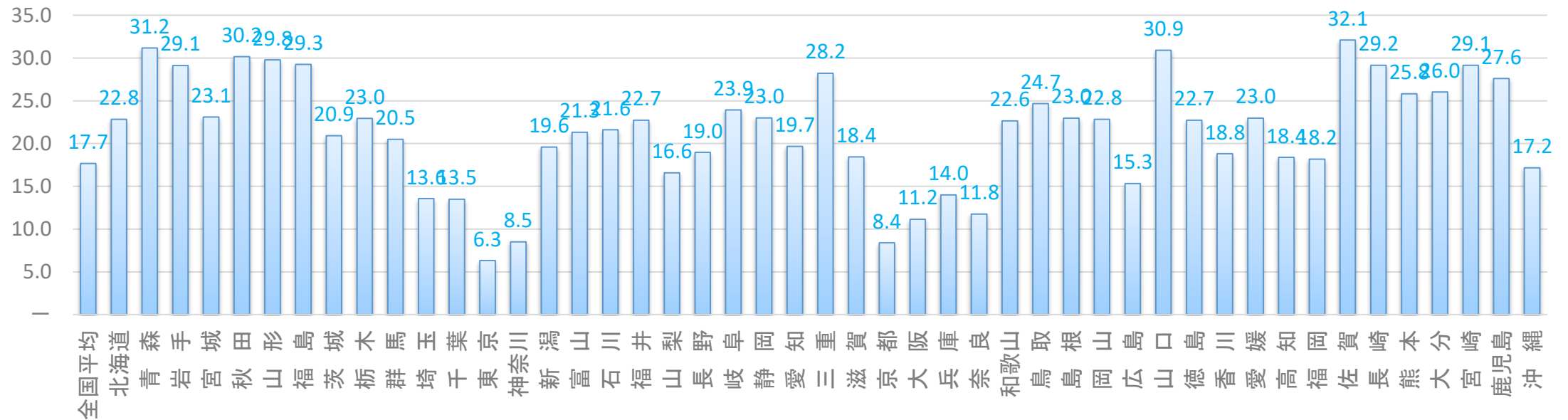
出典: 文部科学省、『学校基本調査』

出典: 文部科学省、『令和元年度学校基本調査(速報値)』⁶

5. 高校卒者に占める就職者の割合

－就職者の比率は、九州地方、東北地方など地方部で高い傾向。

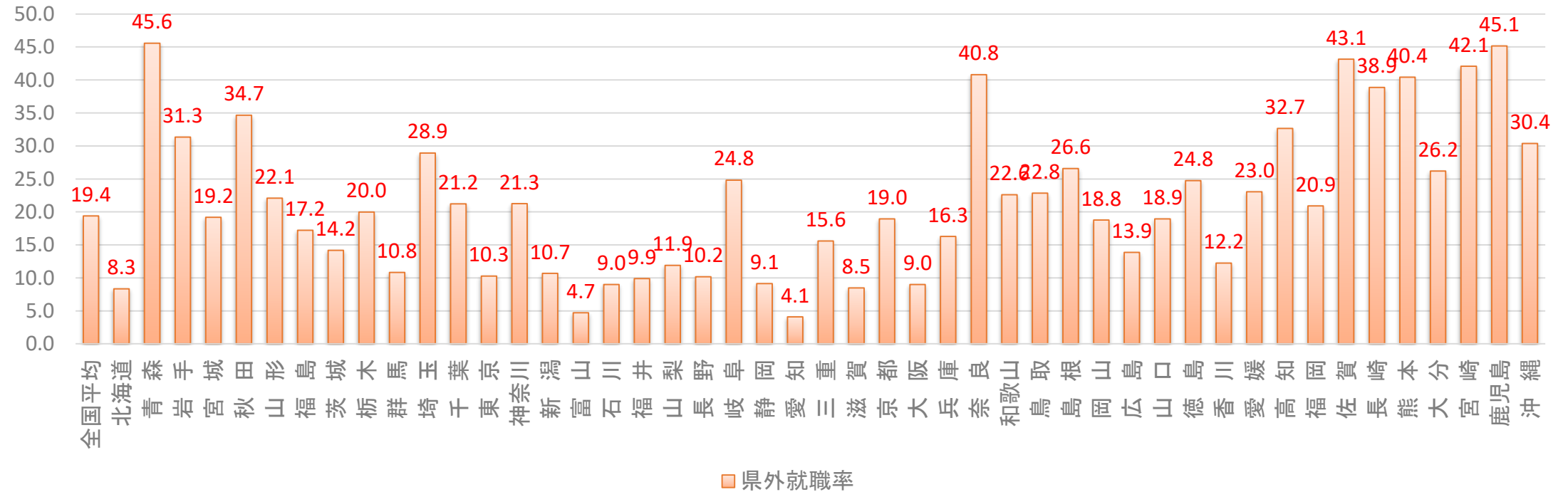
高校卒者に占める就職者の割合



6. 高校卒就職者の県外就職率

－就職者のうち県外に就職する者の比率は、九州地方や東北地方といった地方部において高い傾向。

県外就職率

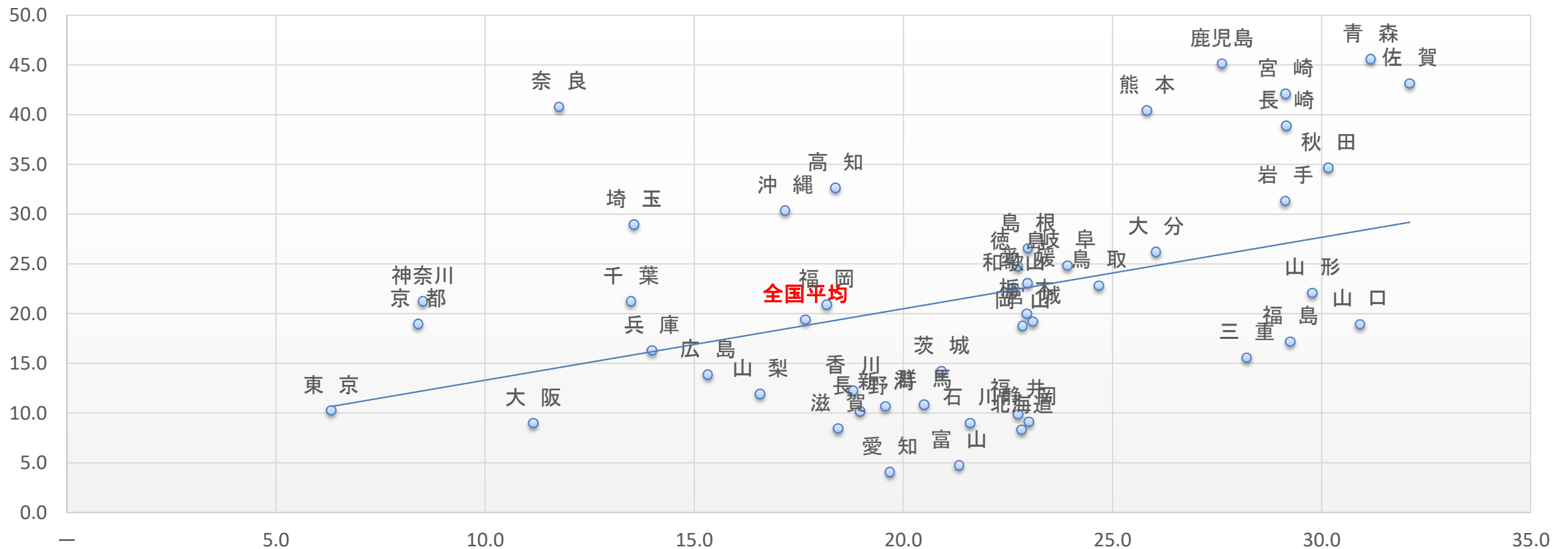


出典：文部科学省、『令和元年度学校基本調査(速報値)』

7. 就職者率と県外就職率のマッピング

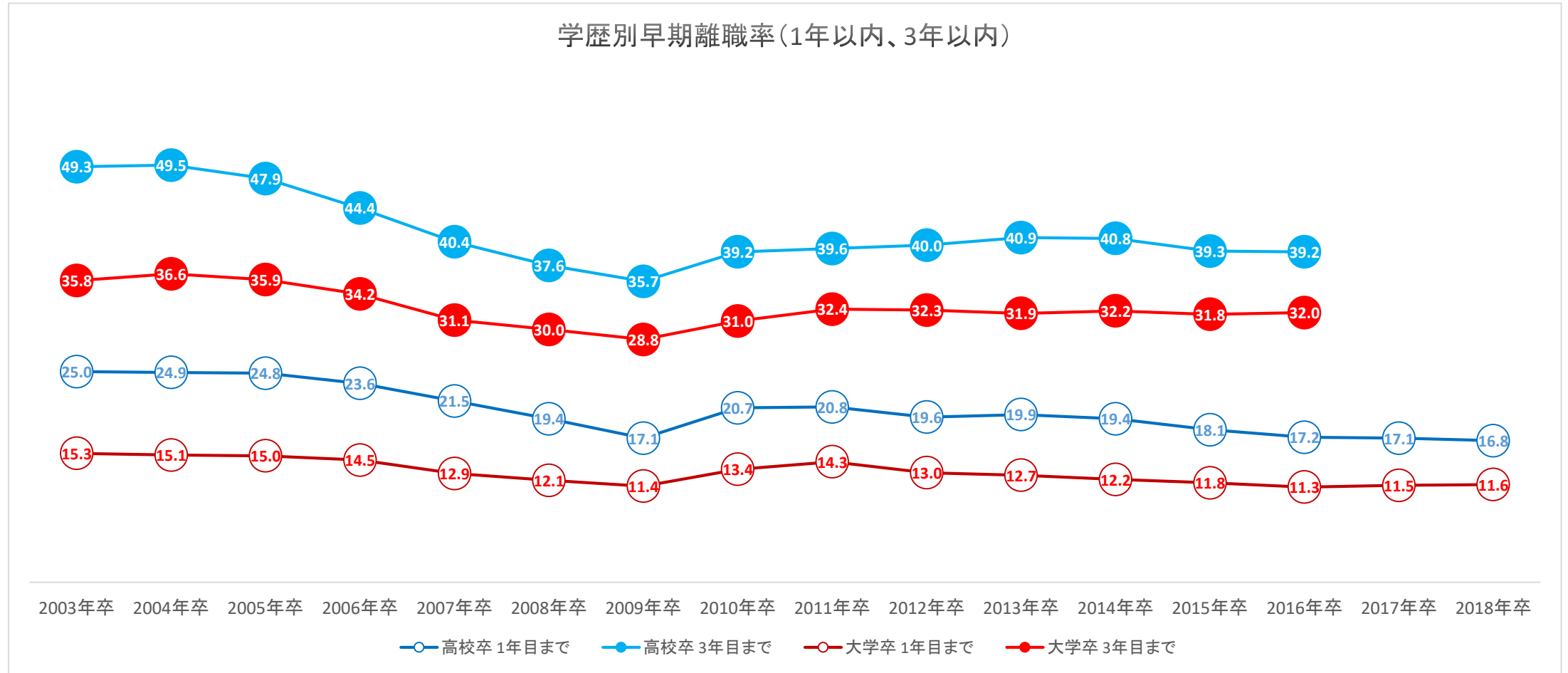
- 就職者率・県外就職率ともに低い“大都市部型”（東京・京都・神奈川等）
- ともに高い“地方型”（青森・佐賀・宮崎・長崎等）
- 県外就職率のみが低い“生産拠点地域型”も（愛知・富山・石川等）。都道府県により多様な状況が広がる

就職者率(横軸)と県外就職率(縦軸)



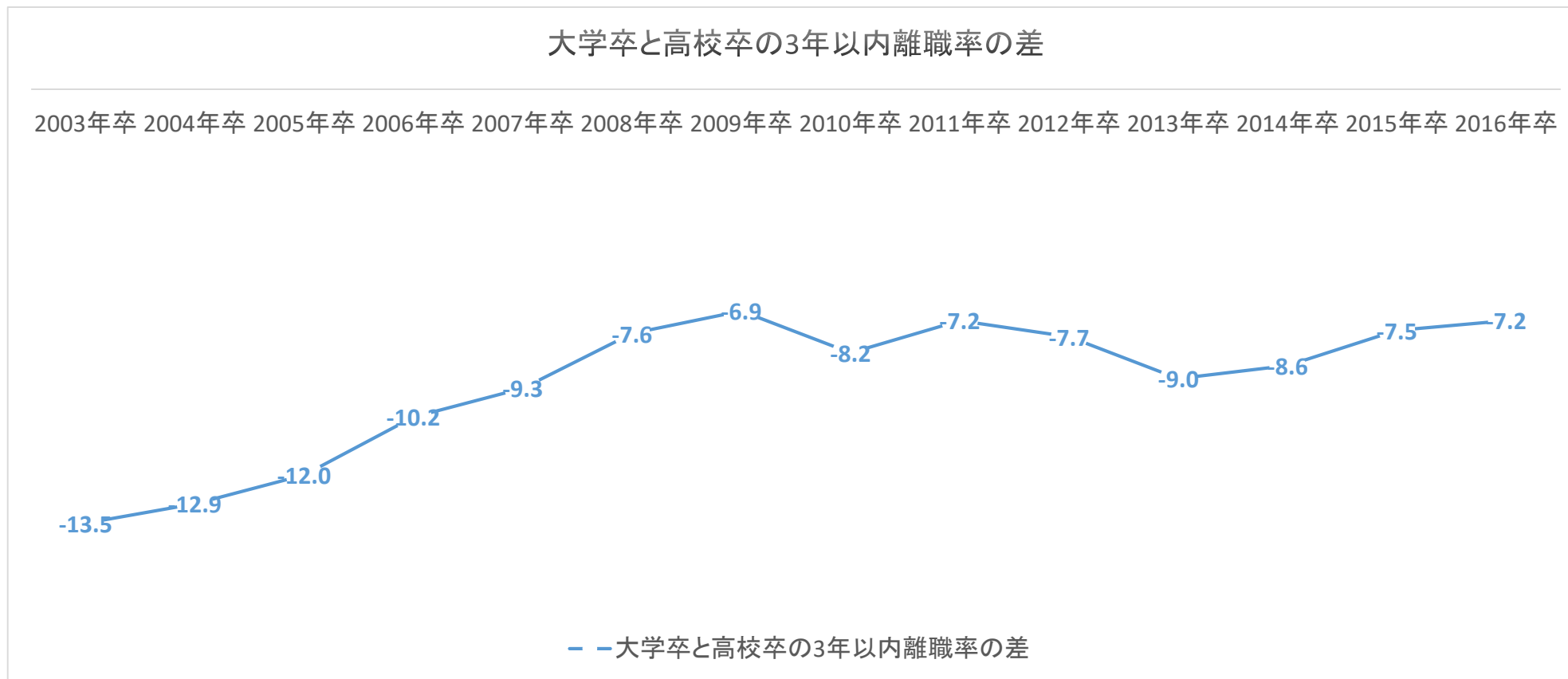
8. 早期離職率の変化（学歴別）

－3年以内の離職率は景況感の状況も受けて、大学卒・高校卒ともに微減傾向が続いている



9. 大学卒と高校卒の3年以内離職率の差 (大学卒－高校卒)

－近年は縮小傾向にあるものの、7%ポイント前後の差が残る



10. 1,000人以上事業所における3年以内離職率の変化 (学歴別)

- 大手事業者に限定すると、早期離職率の差は急激に縮小する。
- 高校卒者の離職の問題は、中小事業者において顕著であることが示唆され、就職後支援が重要に。

